

—誇り・交流・夢—



# うきは

No.48

平成29年2月1日

(平成28年12月議会号)

## 市議会だより

### CONTENTS

**つたえる** (補正予算・条例制定、改正ほか) …… 2~4

**市政を問う** (一般質問) …… 5~9

### 委員会報告

(総務産業・厚生文教・水資源対策・議会改革) …… 10~12

**議会報告会から** …… 13~15

**町並みの花・編集後記** …… 16



# つたえる



平成29年初日の出

## 上程された議案

◆補正予算 一般会計及び特別会計	7件	◆専決処分の承認	1件
◆条例制定 ふるさと・まごころ基金	1件	◆条例一部改正	7件
◆陳情	2件		

12月9日に召集された定例議会は右記の上程された議案を審議し、全議案とも原案どおり可決され12日間の会期を終えました。以下議決された議案のうち、主なものについて、その概要をお伝えします。

### ◆議案第86号 一般会計補正予算

#### ○地域コミュニティ推進費

御幸コミュニティセンターが、男女共同参画センターへ移転します。

よってそれに伴う営繕工事費4、100千円

#### ○介護保険対策費

地域介護・福祉空間整備等補助金852千円を水月・老人ホーム2事業所へ、地域密着型施設等整備補助金10、290千円をJAにじへ交付します。

#### ○民間保育所費

民間保育所運営委託料10、000千円を幸輪・遊林・御幸各保育園へ、保育対策総合支援事業費補助金1、100千円を幸輪・遊林保育所へ交付します。

#### ○農業振興費

強い農業づくり交付金40、749千円、JAにじカントリー建物入札減により返還。

#### ○耳納山麓開発費

農業競争力強化基盤整備事業費負担金32、000千円（地方債16、000千円・一般財源16、000千円）今後、農業委員会等との検討課題。



○生涯学習センター建設費

生涯学習センター設計管理委託料49、366千円、29年度への繰越明許費（債務負担行為補正14、155千円）



生涯学習センターに建替えられるムラおこしセンター

第1条（設置） ふるさと納税

による寄附金を適正に管理及び活用し、うきは市のまちづくりを応援する寄附者の思いを具体化するため、うきは市ふるさと・まごころ基金を設置する。



ふるさと納税をまごころ基金へ

第6条（処分） 施行規則第2条

- ① 自然環境保全事業 【森と水まもろう寄付】
- ② 景観保全事業 【景観だいに寄付】
- ③ 高齢者福祉事業 【高齢者いきいき寄付】
- ④ 青少年健全育成事業 【子どもこれから寄付】
- ⑤ 地域活動支援事業 【お祭りにぎわい寄付】

⑥ その他市長が特に必要と認め  
る事業

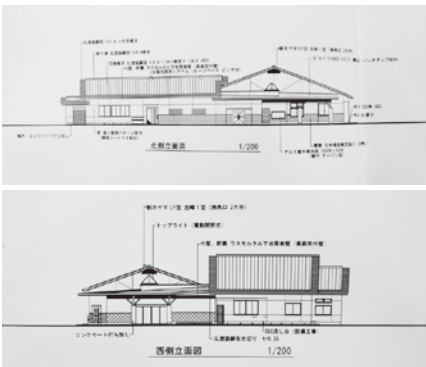
【市長にお任せ寄付】

意見・質疑（充当要望）

- 地域おこし協力隊への財源
- こども育成ための財源
- 大石堰・袋野隧道関係への財源

◆議案第95号 うきは市自治組織条例の一部を改正する条例の制定について

御幸及び福富コミュニティセンターの移転・建設に伴い住所、使用料・冷暖房料を改める。（御幸コミュニティセンター浮羽町朝田562番地11・福富コミュニティセンター吉井町福益1609番地1）



福富新コミュニティセンターの設計図

◆議案第96号 うきは市男女共同参画センター条例の一部を改正する条例の制定について

御幸コミュニティセンター転入により、改めてうきは市民センターへ移転するため。（浮羽町朝田562番地11から、浮羽町朝田582番地1へ）

◆議案第97号・98号・99号・100号 うきは市市議会議員・特別職・職員・自動車学校職員等の報酬給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

人事院勧告により改めるものです。

◆議案第101号 うきは市専用水道給水条例の一部を改正する条例の制定について

県公営住宅蓮町団地専用水道の基本料金870円を、1、180円に統一するものです。



◆議案第93号 専決処分の承認（専用水道給水条例の一部改正について）  
市営住宅うきは市吉井町新治の新治団地内を給水区域に加える。  
◆議案第94号 うきは市ふるさと・まごころ基金条例の制定について



## 特別会計補正予算の議決結果

議案第 87 号	国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	歳入歳出の増額補正を行うものです。	可決
議案第 88 号	後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 2 号）	予算内の補正を行うものです。	可決
議案第 89 号	自動車学校特別会計補正予算（第 2 号）	予算内の補正を行うものです。	可決
議案第 90 号	下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	歳入歳出の減額補正を行うものです。	可決
議案第 91 号	農業集落排水事業特別会計補正予算（第 2 号）	予算内の補正を行うものです。	可決
議案第 92 号	浄化槽整備事業特別会計補正予算（第 2 号）	予算内の補正を行うものです。	可決

## 陳情・報告

①多目的に活用できる教室に読書機能を持つ施設の設置要望についての陳情

陳情者：多目的教室に読書機能を持つ施設設置を求めらる会

代表 中川正子

主旨  
建設予定の生涯学習センター内に、多目的で気軽に子どもから大人まで利用できる読書・学習スペースを設置して欲しい。

審査結果

図書館機能の新たな設置



を危惧する意見も出されましたが、慎重審査の結果、センター機能として高齢者の学習意欲や読み聞かせなどのボランティア活動の提供ができるとして、採択となりました。

②議会図書室の整備・活用と機能の充実強化に関する陳情

陳情者：中島健一

主旨

うきは市議会基本条例に基づき、議会図書室の整備活用を図り、市民の利用、政策立案に資するよう求める。

審査結果

引き続き議論を行うとして、継続審査といたしました。

### RDFに関する報告

平成28年12月27日大牟田リサイクル発電事業運営協議会で平成35年3月以降の事業中止が決定されました。

議会として事業中止に伴う新たなRDF受け入れ先費用や発電所撤去費用等、福岡県へ要望書の提出を予定しています。



地域おこし協力隊を活用した  
今後の展開は



いわさ たつろう  
岩佐 達郎 議員

うきははブランドの推進に繋がる協力隊を

受け入れます(市長)

**岩佐** 隊員10名の内4名が3年の任期を迎えるが、任期後もうきは市に定住してもらえよう支援が必要と考えるが。

**市長** 本人たちの考えを十分尊重し、国の支援も活用しながら、あらゆる面で支援を行って、定住に向けた対応を図ってまいります。

**岩佐** 自治協議会活動の活性化に向け、地域おこし協力隊や集落支援員等の配置は。

**市長** 重要なことであると考えますので、各自治協議会の意見や要望を吸い上げながら、活用方法を検討します。

●●地域防災体制の強化について

**岩佐** 熊本地震、台風10号の災害を受け、うきは市地域防災計画の見直しは行うのか。また、業務継続計画は策定されているのか。

**市長** 今後、県の防災計画の変更等も踏まえ柔軟に対応し、必要な

場合防災会議に諮ってまいります。また、災害を想定した業務継続計画の作成は喫緊の課題であり、本年度中の作成を目指しています。

●●野生鳥獣被害対策について

**岩佐** 抜本的対策としての今後の施策、具体的取り組みは。

**市長** 駆除班等による駆除、国・県補助事業等を活用した被害防止に取り組む。また、ジビエ加工については広域での取り組みを検討します。



侵入された防止柵

新電力販売会社との契約更新で  
大幅なコストダウンを



いざやま しげき  
諫山 茂樹 議員

久留米市と連携を深めて

しっかり対応して行きます(市長)

**諫山** 昨年12月議会でLED照明に取り換えての電力削減を提案したが、その進捗状況は。

**市長** 工法の見直しが発生した為年度内竣工を予定しています。

**諫山** 電気事業法改正に伴い新電力(株)と契約更新し大幅なコストダウンを提案した進捗状況は。

**市長** 今後検討して行きます。

**諫山** 久留米市は約30%のコストダウンを達成し、当市でも年間約2千万円以上の節減が可能なら久留米市は要請があれば指導は惜しまないと聞いているので、是非積極的に挑戦して頂きたい。

**市長** 久留米市の電気技術者等のアドバイスを得ながら連携を深めてしっかり対応します。

●●野外円形劇場の早期復活を

**諫山** 大正時代に作られた円形劇場を早期復活し、文化遺産の発信や観光等に有効活用を求める。

**市長** 来年度に工事を予定し芸能やイベントに広く活用します。

●●教室の空調設備設置について

**諫山** 地球温暖化に伴い空調設備の導入が図られるが、工事は来年5月に完成し夏休みを短縮して授業時間に充てられないか。

**教育長** 5月完了で努力するが夏休み短縮は今後検討します。

●●緑地帯への遊具移設について

**諫山** 三春工業団地緑地帯に遊具を移設し子供の遊び場を確保したいが。

**市長** 安全性の確保や移設費用等を調査し検討してまいります。



電気料金削減に関連する  
高電圧変換設備

## 県のRDF発電事業撤退 無条件で受託するか



みその さんじろう  
三園 三次郎 議員

RDFを主導した県には

大きな責任があると考えております(市長)

**三園** 県主導でRDF施設を建設したが、発電事業の継続は困難として、県が撤廃を表明され小川知事は「自治体のゴミ処理を広域で行う」という当初の目的は達成できた」と、余りにも無責任な発言で、この一方的な通告を無条件で受け入れるのか。

**市長** RDFを主導した県には大きな責任があると考えており今後、県及び電源開発株式会社との責任についても協議を重ねてまいります。

**三園** うきは久留米環境施設組合では、「操業中止ではなく新たな搬入先を検討」と報じられたがRDF燃料を製造しても、焼却施設は所在するのか。

**市長** RDFの新たな受け入れ施設は、現在、福岡県及び県内五組合で検討を行っているところでありませぬ。

●●●総合戦略の目標と  
●●●達成成果の検証は

**三園** 人口減少を抑止する目的



(H28年12月より)生ゴミ搬入で  
車列ができているRDF施設

で、地方創生総合戦略を策定したが、昨年の国勢調査の確定人口は、市制執行要件の人口三万人を割ってしまった。

総合戦略を達成するためには目標に対して効果を検証する必要があるが、うきは市ルネッサンス戦略の検証の結果はどうなっているのか。

**市長** KPI検証のための協議会を開催し、地方創生先行型交付金に係る事業について報告し検証を行ったが、いずれも目標を達成している状況です。

## 自治協議会の充実と発展に 向けての推進は



さとう たんりょう  
佐藤 湛陽 議員

地域計画において、連携し支援していきます(市長)

**佐藤** 地域を眺めると少子高齢化、集落の小規模化は深刻な問題で、自治協議会活動の中で福祉分野は将来大部分を占めるのではないが。

社会福祉協議会は社会福祉法に地域福祉の推進役と定められているが、自治協議会の支援に当たって社会福祉協議会への期待

はどのように整理しているのか、社会福祉協議会を中間支援組織として活用していくことが効果的と思うがどうか。

**市長** 自治協議会の活動で地域福祉が占めるウェイトが大きいことは言うまでもありません。

自治協議会が取り組む福祉事業において、社会福祉協議会は重要な役割を担っていると思いますし、社会福祉協議会には専門的な知識に基づいて指導助言をお願いしたいし、大きな期待をしているところでもあります。

社会福祉協議会と連携を取り

ながら各自治の実情に即しサポートしていきたい。

●●●各専門相談機関の  
●●●連携支援体制構築について

**佐藤** 不登校相談などに対し、各支援機関が縦割ではなく横軸を通し、支援する取り組みが必要と考えるが。

**市長** 今後、子どもに関する部署、具体的には保健課・福祉事務所・学校教育課を一つのフロアに集めることも検討しています。



市の将来像



## 学童保育の課題は何か



いわぶち かずあき  
岩淵 和明 議員

### 専用区分の確保等整備を引き続き図ります(市長)

**岩淵** 学童保育の委託に関する

**運営指針や基準は作らないのか。**

**市長** 委託先は今後多様化して

いくことも想定され、その際はさらに詳細な検討をおこなう必要があると考えております。

**岩淵** 生活困窮世帯への減免制度の条例化の対応は。

**市長** 各保護者会で決定しており、保育料の免除制度はありませんが、兄弟入所の減額実施・生活保護受給者で就労収入があれば、必要経費として補助の取り扱いをしています。

**岩淵** 学童保育の支援員の役割についてどう捉えているのか。

**市長** 従来は生活指導であったものが、基準を定める条例の制定を受け、児童の自主性、社会性及び創造性の向上と基本的な生活習慣確立等を指導しなければならぬとなっています。

支援員の要件及び資格が明確になり、求められる役割が明確

になったものと考えております。

**岩淵** 事業責任者である市が支援員の処遇改善をどのように進

めてきたのか。

**市長** 近隣市町村の状況を調査し改善案を示してきましたが、保育料値上げにつながるとして理解が得られていません。

今後支援員の処遇改善並びに保護者会の業務軽減をめざし、引き続き協議を進めていきます。



## 中学校のエアコンは来年の夏に間に合うか



なかの よしのぶ  
中野 義信 議員

### 両中学校とも5月末工事完成、6月から使用できます(教育長)

**中野** 小学校のエアコンについて

**は今後どのように進めていくのか。**

**教育長** 昨年10月に浮羽・吉井

中学校の普通教室への空調整備を行うため、国に採択要望を行い、今年の11月に学校施設環境改善交付決定をいただき、平成29年度にかけて空調工事を行います。小学校はそれ以後検討してまいります。

●●● **姫治地区小学校の今後の運営**

**中野** 議会報告会の中で、小学校がなくなると地域が寂れるという意見と、生徒が1人では何もできないので親として大変不安であるという両方の意見が出ている。地元との意見調整を今後どう図っていくのか。

**市長** 総合教育会議では、小学校の適正規模、適正配置について議論しました。8月に新学習指導要領の中央教育審議会からのまとめ案が示され、小学校の3、4年生で英語活動、5、6年生に教科

英語が導入されるとともに、平成30年度から教科化される道徳では、討論が重視されます。

これらを踏まえて、適正規模とは何かについて子供の視点に立つて議論を行い、大きな枠組みとして平成32年度に、小学校の新学習指導要領が全面实施されるまでには姫治地区の3校を御幸小学校に統合するという軸で、しっかりと丁寧に子供の視点、地域の視点を基軸にして進めていく方向性を示したところです。



エアコンが設置される浮羽・吉井中学校

## 中山間地の農地と景観

誰が守るのか！



えとう よしみつ  
江藤 芳光 議員

非常に厳しい状況！集落営農も必要（市長）

**江藤** 今、小塩地区は「いずれは法人化を」と熱い！しかし、姫治地区で立ち上げた「農地保全対策協議会」では、これを「誰がやるのか」が現実課題であり、市の政策を問う。

**市長** 3つの谷は、それぞれ特色があり、景観に付加価値つけて生き残りを図り、「テロワール（※注）」を発信して、都会の若者に結びつける取り組みを考えています。

**江藤** 今後、（株）うきはレインボーファームが担う、うきは農業振興への事業構想を伺う。

**市長** 今後、経営規模を拡大して雇用創出を図り、農業従事者を確保する人材センター、さらには中山間地の作業受託や集落営農組織へのオペレーター派遣事業等を検討していきます。

### ●●観光と山村振興道路について

**江藤** 進展する県道「八女香春線」を3つの谷（妹川、新川・田籠、小塩線）につなぎ、観光と山村



豊かな山村が連なる小塩地区  
「今、小塩の取り組みが熱い！」

※注「テロワール」とは、うきは市がフランスのワイン産地ポルドーなどによく似た非常に珍しい地質、地形を有していることから名付けられたものです。

## 全国市長会等で

議論をさせて頂いているところです（市長）

## 民生委員の処遇改善は



うえの きょうこ  
上野 恭子 議員

**上野** 民生委員とわかりやすいジャンバーの配布はどうか。

**市長** 来年初設百年の節目であり御指摘を踏まえ検討します。

### ●●消費者金融過払い金について

**上野** 税滞納者の中には、過払い金に苦しむ方もいるのでは。

**市長** 確認された場合、過払い金返還請求訴訟を行っています。

**上野** 徴収対策室で救済の対応を、お願いできないのか。

**徴収室長** 今後生活全体像を把握し、徴収アドバイザーと所管が連携して生活再建の取り組みを進めてまいります。

### ●●市職員採用のあり方と

**上司マネジメント教育について**  
**上野** 何を重視して採用とするのか経営能力、営業能力は必須と感ずるが、企業出向や企業体験者採用の考えは、また上司のマネジメント教育はどうか。

**市長** 現在事務適性や一般性格診断、作文や面接試験を実施してお

り上司のマネジメント教育については、新任課長研修において能力向上に努めています。

**上野** 即戦力となる実務経験の社会人経験募集枠をぜひ設けて欲しい、やる気や向上心を持った管理職からマネジメント教育を感じていく事は大事と思う。

**市長** 今年より人事評価制度をスタートしていますが、社会人採用特別枠も考えていきます。

### ●●地域住民の利便性と安全性は

**上野** ①山間部ポスト不足②自動車学校高齢者講習スムーズに③危ない4種踏切はないのか

**市長** ①実態見②③努力します。



警報機・遮断機のない  
4種踏切1種踏切へ  
格上を



## 統合した小学生を学級毎に 山へ帰り体験と触れ合いを



たかやま としえ  
高山 敏枝 議員

有意義な体験教育、地域活性化になると考えます(教育長)

**高山** 山三校は統廃合を望む方と、地域が寂れると危惧する方の相反する意見が有るが、具体的にどう説明していくのか。

**市長** 平成32年、御幸小へ統合の方向性を学校教育課、市民協働推進課、生涯学習課など関係部署連携で説明し、ご意見を伺って対応策を探っていきます。

**高山** 地域活性化にクラスずつ山へ帰り、各校区の自治組織で昼食、行事、体験を考えていけば地域の絆、昼食の工夫で食のコミュニケーションに繋げる策もあるなどのプランを説明し理解を得ることが大事だし、山村留学のよさは、夏休みにうきは市の子供に山の生活体験、自然体験をさせ地域との交流に生かすよう提案する。

**教育長** 提案の体験は有意義な教育活動、地域活性化になるので様々な観点で検討します。

●●●ミネラル野菜をブランド化に

**高山** 健康対策で、微量要素が

入った野菜を食べましようミネラル野菜栽培を勧めてきたが、まずはレインボーファームでのトマトにミネラル施肥で特徴あるトマトのブランド化に取り組めないか。

**市長** レインボーファームのトマト、桃太郎は高い評価を得ているが、農産物のブランド化は重要と考えるので、実効性を含めJAにじと検討します。

**高山** ミネラル肥料はJA販売で連携しやすいので早速、関係部署と話し合いをして頂きたい。農林振興課長 JA、普及センターと検討します。



絶対おいしいミネラル野菜

## 市民アンケートの結果で 経営は成り立たないのでは



おおごし ひでお  
大越 秀男 議員

市民へのさらなる説明に努めます(市長)

**大越** 上水道計画の市民アンケート結果は、接続率が大変厳しく、経営は成り立たないと思うが、それでも計画は進めるのか。

**市長** 現在利用している地下水について調査分析を行い、実態を解明し、市民へ上水道の必要性について説明に努めます。

**大越** 地下水を守りながら、簡易水道を数箇所設置する方法もあるのではないか。

**市長** 簡易水道・上水道とも、広域で実施する時代になっており、新規創設は、財政・経営的に厳しいと考えています。

**大越** どこかの時点で、「覚書」に基づいて合所ダムの水利権獲得に動いていけば交渉はできたのではないか。

**市長** 平成12年1月24日前であれば法的根拠はなくても、話し合えばできたと思います。

●●●耳納クリーンステーションの施設維持について

**大越** 県が大牟田のRDF発電

事業の廃止を打ち出したが、2023年度以降はどうするのか。

**市長** 施設は30年は持つので、しっかり使う方向で久留米市さんと共同で維持をしていきたいと思っています。

**大越** うきは市のごみも久留米市に委託して処理をしてもらうべきではないか。

**市長** 仮にそのような話をしても、相当の加入負担金が求められると思うし、総合的な判断を常に考えていきたいと思っています。



どうする!高価な施設

## 総務産業常任委員会

### ◆観光戦略に関する調査

(平成28年10月25日実施)

地域資源を活かした地方創生「うきはルネッサンス総合戦略」の主体をなす「観光戦略」をテーマに、うきはブランド推進課及びうきは市観光協会の取り組み、とりわけ地域おこし協力隊(10人)のミッションとその活動について意見交換を行いました。

#### 主な議論

- ① うきは市観光の目玉(フルーツ)
- ② 観光のスタイル変化(団体から個々へ)
- ③ 入込客の圏域(調査結果)
- ④ 観光案内(道路・営業)
- ⑤ グリーンツーリズムの再活動
- ⑥ フルーツ大国とする現状基盤
- ⑦ インバウンド誘客(外国人からうきはの魅力とは)
- ⑧ ふるさと納税(吉岐市との連携)



福岡青果市場での意見交換

#### 所見

地域おこし協力隊の先人が最終年度に至り、かつてなき先進かつ斬新なアイデアや個人的能力の実践によって具現的な成果も見え始めております。

### ◆農業政策に関する調査

(平成28年11月8日実施)

場所：福岡青果市場  
うきは市の基幹産業である農業の将来を見据えグローバル経済に向け、九州農産物の輸出拠点となる、福岡青果市場を視察しました。

#### ◆特徴

冷蔵技術(低温流通体系)の導入

産地から消費地まで温度管理をして、品質の管理・保持をしていく取り組み。

#### 所見

農産物の海外輸出の現状と今後の動向を見聞きました。冷蔵技術や輸送手段の革新とも相まって、農業者の高齢化、担い手不足等の諸課題が、やがて進展への時代到来を、奇しくも期待しました。

(調査日：平成28年11月9日)

#### 場所：山口市役所

#### ■山口市の農業調査

営農の先進地である山口市の「耕作放棄地対策」及び「農業後継者対策」について山口市役所を訪問し、意見交換を行いました。

#### 場所：島根県津和野町

#### ■農業法人「おくがの村」調査

30年前に全国でいち早く農業法人を設立し、周辺地域との連携を進めた島根県ネットワークの「糸賀盛人」氏を訪ね、うきは市の危機迫る中山間地農業の継続と環境保全対策に資するため、その現況と今後の展開を学

びました。

#### 所見

山口市は、合併により広範な面積を有しているが、農業構造は小規模ながらも、中国地方は営農法人化が進化しており、現段階では徐々に経営統合による規模拡大が講じられ、高齢化・担い手不足等の課題を、国政に沿った企業化が参考となりました。

「おくがの村」は、報道とは程遠く、ただ代表の「糸賀盛人」氏の納屋「囲炉裏端」での話ではあったが、素朴から生まれる知恵の結晶が読み取れ、うきはの中山間地と重ねられながら、今後の対策に資する調査でありました。



「おくがの村」糸賀氏より説明を受ける

## 厚生文教常任委員会

### ◇重要文化的景観の調査（宇治市）

（平成28年11月16日）

うきは市は、平成20年度から文化庁所管で重要文化的景観の選定計画でしたが、九州北部豪雨災害により中断しましたが、平成28年から2年掛け調査予定です。

京都府宇治市の市街地及び周辺地域が、平成21年2月に「重要文化的景観」に選定されています。

うきは市の計画区域は、新川・田籠の水田・畑地など農耕に関する景観地で、市民の理解・醸成の進め方を伺い、審査の参考とする目的で調査をしました。

#### 質疑（主なもの）

Q・・伝統的建造物が先で、更に規制がかかるのか。

A・・規制は伝統的建造物のように厳しくない。

時代の流れで変わるのをコントロールする認定制に近いものです。

Q・・文化的景観の課題をどう捉えているか。

A・・文化的景観の価値が判りづら

く、市民への説明もしづらい。

「原点は皆さんの日常が大切」との認識・理解、そこを乗り越えるのに時間を要します。

Q・・古い建物を残すところで不満や現状をどう捉えているのか。

A・・住宅用は残りにくく、商業用は残りやすい傾向があります。古い町屋のリフォーム等、景観寄与に助成の案内を配り、住民主体でまちづくりを進めています。

#### 所見

宇治市は理解を深めるため少数フォーラムを行っているが、まちづくりの参考にして進めて欲しい。

景観計画（国土交通省）と重要文化的景観（文化庁）を一体的に推進する組織整備も必要だと思います。

### ◇学力向上の調査（敦賀市）

（平成28年11月17日）

うきは市の平成28年度全国学力テストの結果は、小学校で国語Aを除き全国平均を越え、中学校は県・全国を下回っています。

集中し落ち着いた授業が向上している一方、学習状況調査では生活習慣・自尊心や規範意識等、育むための学校や家庭での教育の在り方が課題とされています。

そこで、全国学力テストで常に上位の福井県敦賀市を調査しました。

福井県は、「福井型18年教育」として0歳児～18歳までの学びをつなぐ学習、「ていねいな教育」として県独自の少人数教育、「きたえる教育」として体育指導の推進を図っています。

そして敦賀市は、「勉強して考える力」「内面を豊かにする力」「たくましく生きる力」の「知・徳・体」充実プランを進め、「0歳児からの保育園・幼稚園・認定こども園」「小・中学校」そして上級学校へ「学びのつながり」の教育を進めています。

「福井県幼保小接続カリキュラ

ム」と「幼保小ブリッジング事業」を使い、幼児教育と小学校の接続の充実に努めていました。

「ていねいな教育」は、県独自の少人数学級と生活支援員、少数指導教員の配置、市独自に小学校の司書配置、小学校は外国語指導員の助手配置、中学校区単位に小中・小中連携を進め、授業や交流を実施する「小中一貫教育の推進」に取り組んでいます。

#### 所見

福井県の学びに対する基本姿勢と、敦賀市のつなげる指導を大切にすする施策の流れを学びました。

子ども達の夢や目標と重ね「何のために学習するのか」「何をしなければいけないか」を子ども自身が考えることが大切で、「気づき」を促すため、学力向上が必要ではないかと思いました。



宇治市での景観調査



敦賀市の指導書



## 水資源対策特別委員会

前回の市議会だよりで、第8回（平成28年7月26日）までの委員会での内容報告を行ってまいりましたが、議会としても行政の推進説明に対し、疑問点など、議論の真最中です。

現状のまとめとして

【上水道事業アンケート集約による今後の方針】

【上水道整備事業試算に基づく料金等の検証】

【小石原川ダム建設事業の現状】

一、水源地域整備計画関連の負担

一、水没者への生活再建促進費の負担

一、漁業補償費の負担

など、うきは市の負担する費用等、まだまだ大きな課題があり、とにかく重要なのは市民の理解であり、今後市民の意見など重要視し、ひき続き委員会調査を進めてまいります。

## 議会改革特別委員会

平成28年9月に設置し、その経過について報告します。



議場

### 第1回平成28年10月7日

今後の取り組みにつき、8項目の検討課題を決定しました。

- ① 議員定数について
- ② 議員報酬について
- ③ 政務活動費について
- ④ 研修旅費について
- ⑤ 議会運営委員会のあり方について
- ⑥ 常任委員会・広報委員会編成のあり方について

⑦ 広報委員会費用弁償改定について

⑧ 一般質問のあり方検討及び指導について

### 第2回平成28年11月4日

- ① 議員定数について
  - ・ 人口35,000人以下の九州地区データ検証。
- ② 議員報酬について
  - ・ 全国市議会及び人口35,000人以下の九州地区データ検証。

### ◆その他

- 一、議会報告会のあり方
  - 二、各委員会の任期のあり方
  - 三、委員の所属変更のあり方
- 以上の意見が出されました。

### 第3回平成28年12月1日

- ① 議員定数について
  - ・ 定数削減で決定、次回で削減数案提示。
- ② 議員報酬について
  - ・ 現状のまま。
- ③ 政務活動費について
  - ・ 現状のまま。
- ④ 研修旅費について
  - ・ 検討課題。

### 第4回 平成29年1月4日

- ① 議員定数について
  - ・ 平成30年4月に改選される市

議会議員の定数1名減の14名  
の案で論議されました。

④ 研修旅費について  
・ 討議中。

⑤ 議会運営委員会のあり方について

・ 議案提案者である市長の出席を求める意見あり。

⑥ 常任委員会・広報委員会編成のあり方について

・ 常任委員会は、平成30年4月の改選後から、任期2年交代の案が提案される予定です。

・ 広報委員会の委員任期・委員選任は次回の検討課題となる。

⑦ 広報委員会費用弁償改定について

・ 他市を参考に今後検討。

⑧ 一般質問のあり方検討及び指導について

・ 通告書に対する市長回答書の配布を重ねて要望する。

・ 他市のやり方・仕様・手法検討。

一、議会報告会のあり方

・ 討議中。

※今後、更なる検討をしてまいります。

# 平成28年度「議会報告会」を開催しました

10月14日（金）から10月27日（木）にかけて下記開催日の7日間、議員15名を3班に分け、自治協議会11組織の会場で開催しました。資料に基づき報告を行い、その後、各自治協議会から提出されたテーマにつき、活発な質疑応答・意見交換が行われました。参加いただいた市民の皆様にご心より感謝を申し上げます。



## 【報告内容】

1. うきは市の上水道整備事業
2. 行政区未加入世帯及び空き家対策
3. 空き家の概況
4. 市税等滞納の現状
5. うきは農業の現状

## 【議員と語ろう】

\*自治協議会から  
提出された  
地域課題等

## 【班編成議員名】

- 【1班】伊藤(班長)・熊懐・上野・大越・櫛川  
【2班】江藤(班長)・中野・佐藤・諫山・岩佐  
【3班】岩淵(班長)・鏈水・高山・三園・藤田

## ◆開催日・担当班・場所・参加人数

開催日	班編成	会場	校区	参加人数(人)
10月14日(金)	1班	コミュニティセンター	大石	19
	2班		江南	35
10月15日(土)	1班	コミュニティセンター	田籠	18
10月19日(水)	2班	コミュニティセンター	妹川	18
	3班		山春	16
10月20日(木)	1班	コミュニティセンター	福富	22
	3班		新川	25
10月21日(金)	2班	コミュニティセンター	御幸	12
10月24日(月)	1班	生涯学習センター	吉井	26
	3班	コミュニティセンター	小塩	17
10月27日(木)	2班	コミュニティセンター	千年	48
合 計				256

※昨年の参加人数253人

## ◆アンケート結果（主な内容）

1. 参加者の年齢構成、50代が12.8%、60代57.3%、70代18.9%、約90%が3代の年齢でした。
2. 4回目の開催となり、初めての参加29.7%、2回目参加18%、3回目以上参加52.3%でした。
3. 開催の了知、広報うきは37.5%、地域役員さんを通じて31.3%、防災無線13.9%で知った方が多数でした。
4. 開始時刻（午後7時）84.7%の方がちょうど良いとのご意見でした。
5. 所要時間（2時間）82.1%の方がちょうど良い、長いと思われた方が15.4%でした。
6. 報告会での内容については、普通が53.8%、良かったが40%でした。

議会報告会における、市民の皆様からの主なご意見・要望に対する行政からの回答です。

◆公共施設の整備について

Q 公共施設が吉井町に集中しており、会議・集会等は均衡を配慮するよう要望する。

A 市民サービスの向上を図る上で、市民の皆様に直接サービスを提供しなくてはならない事業については、浮羽地区と吉井地区の2会場で実施をしています。

Q 生涯学習センターを建て替えるときには、小さな図書館も設置して欲しい。

A 読書・学習機能を持ったスペース等を設置できるよう、検討を加えています。

◆公共バスについて

Q 市営バスを通して欲しい。

A ご不便をかけますがデマンド乗合いタクシーの利用をお願いいたします。

Q 買い物弱者など福祉対策として巡回バス導入の再検討を要望する。

A 運輸局の認可を受けて運行する必要があります。状況を見ながら対応方法について検討したい。

◆自治協議会について

Q 自治協議会の規模（戸数・人口）に関わらず、事務局職員は一律1人分（20万円）の交付となっている。また、運営交付金も同様で、実情に反している。区長委嘱

廃止を機に見直しを求める。

A 区長委嘱の廃止に伴う運営支援交付金の増額に併せ、平成29年度から実質的に配分の見直しを行う予定です。

Q 自治協議会は運営人員を増やさなければ対応できない。

A 現状の運営人員をベースに、地域の中で最適な運営のあり方を、住民の皆様とも協議しながら検討いただきたい。なお、区長委嘱廃止に伴い、平成29年度より運営支援交付金の増額を検討しています。

Q 自治協議会の会長会を組織して欲しい。

A 各自治協議会の意見を踏まえ、運営がより円滑に進むよう、自治協議会連絡会のあり方を検討します。

◆上水道整備について

Q 「70%の接続がなければ経営は成り立たない」と説明したが、10・9%で採算が取れるのか。地下水があり、上水道が整備されても接続されないのでは。

A 10・9%は即加入する方の割合で、このほか数年後に加入するという方もいます。また、既に水質が悪化し、すぐさま上水道が必要という方もいます。今後は地下水調査を進め、市民の皆様にも水道の役割や必要性について引き続き説明していきます。

Q 上水道の使わない水を他市へ貸したり、あるいは売ることではないのか。

A 水利権とは河川の水を占有（利用）する権利のことですが、河川管理者が関与しない水道事業者（占有者）間の水利権の売買や貸し借りは認められていません。

Q なぜ、久留米市から水を引くのか、そのやり方しかないと考えているのか。

A 県南広域水道企業団から浄水を受水する方法が最も現実的で、かつ経費を抑える方法であると考

Q 公共枿から家庭に接続する費用など、上水道整備に関わる住民負担はどのようになるのか。

A 費用負担の具体的な内容については、水道事業計画を策定する中で検討していきます。

◆空き家対策について

Q 空き家解体に補助金が出せないのか。

A 平成29年度からの実施を目指し、老朽危険家屋に対する補助制度を検討しています。

Q 空き家、瓦等の滑落の恐れあり、どうにかできないか。強制権のある条例の制定はどうか。

A 今後の施策展開の状況も見極めながら、状況に応じて条例制定についても検討しています。



空き家



### ◆地域課題について

Q 高齢者が楽しく過ごすサロンなどの場をつくって欲しい。

A 既に、一部の地域では、介護予防や健康づくりのための「通いの場」が始まっています。今後は、市内全域に拡大していくよう支援していきます。

### ◆中山間地の農地保全について

Q 星野村のように畦畔をコンクリートで塗るなど、山村振興基金を活用し、中山間地農業を持続するための補助事業を要望する。

A 農地の維持に対して、基金を利用する事業であれば、共同で利用している農道や水路のコンクリート化、草刈りや畦塗りを効率よく出来る共同の機械等の導入であれば活用は可能です。畦畔コンクリートの補助事業については、星野村の実態を調査して、対応可能か検討します。

### ◆鳥獣被害対策について

Q 電柵は10年になり不具合も生じている。パネルの更新はできないか。また、猪を仕留めても駆除奨励金は本人に支給されないが、見直しはできないか。

A 獣害被害防止対策にかかる設備の設置については、既存の補助事業にて対応をお願いします。捕獲補助金については、自己の農地・林地における被害防止にかかる捕獲には、現状、支払ができない状況です。

### ◆道路整備・補修・拡張について

Q 合瀬耳納トンネル開通に併せて県道拡幅（尼ヶ瀬及び檜ヶ平地区）を要望する。

A 市としては、引き続き久留米県土整備事務所へ要望を行なっていきます。

### ◆農林振興について

Q 個人の田んぼも高齢化になって、農業をしなくなっても営農の受け手がいないが市としての対策はどうなっているのか。

A 現状では、個人農家や集落営農組織が受け手とならざるを得ないと考えています。

### ◆文化財・景観保護について

Q 重要文化的景観の説明は地元理解と納得を重視して欲しい。決まってからでは遅い、座談会の開催を要望する。

A 重要文化的景観の選定は、地元理解が無くては進められないものであることから、地元説明会を平成29年度に開催する予定にしています。また、制度利用開始については、平成30年度からの予定で進めています。

Q 山春の袋野隧道、円形劇場など多くの宝を活用するための援助はできないか。

A 袋野隧道、および円形劇場のある道の駅うきはについては、活用に関わる事業を進めていく予定になっていきます。資源の有効活用のために、引き続き活用に関わる協議を実施します。

### ◆行政区未加入問題について

Q 行政区加入について条例制定を考えると欲しい。

A 行政区への加入を促進するための条例制定は、各地に見受けられますが、いずれも加入への努力義務規定となっています。これは、区への加入を義務づける法的強制力の根拠がないためです。今後、行政区への加入を粘り強く働きかけていきます。

Q 未加入対策は「区で対応しろ！」と聞こえるが、市でできる

いことが区でできるはずがない。区長任せでは困るので、行政で加入対策を行うべきではないのか。

A 転入・転居の手続きの際に、窓口で行政区への加入案内を渡しています。行政区と未加入者やアパート等の経営者との協議の場を設けるなど、行政区への加入促進を進めるための方法について、現在検討を行なっています。

### ◆あしがき

今回の議会報告会において、参加された市民の方からの、ご意見・要望を、行政の回答を含み、議会として真摯に受けとめ、今後、定例会や委員会を通じて市政に反映できるようにしていきます。

なお、ご意見・要望等の詳細は、うきは市ホームページに掲載しています。



議会報告会の様子

# うきは市の町並みの 花シリーズ「冬」

この花なんの花



傍聴へどうぞ

3月議会は **3月3日(金)** 開会予定

一般質問は3月6日(月)、7日(火)の2日間行われる予定です。

\*インターネットの配信を、ライブ中継、録画放送で行ってます。

QRコードからでもアクセスできます。



## 編集後記



アメリカも大統領が新しく変わり、世界も波乱万丈が予想される年明けになりましたが、こういう時こそ、私達一人一人の自覚が試されるのではないのでしょうか。

西年にちなみ各々が確固たる新年を持ち、大いに羽ばたくことを期待したいものです。

私達うきは市議会でも、各々自覚を新たに、市民の代弁者としてよりよい行政運営に努力をしていきたいと思っております。

(佐藤)

### 発行責任者

議長 櫛川 正男

### 広報広聴委員会

委員長 副委員長  
副委員長

藤田 光彦  
中野 義信  
佐藤 湛陽  
熊懷 和明  
岩淵 英一  
和明

議会事務局

TEL 75-4990  
FAX 75-3342